

2025年新潟県

シロチドリ保全

の取り組み

渡邊キララ 高岡奏多 金井和恵

にいがた浜辺のチドリんず って何者？

新潟県でシロチドリを

愛に愛に愛に愛した集団！！！

これから海が大好きになる人のために。

海が楽しい場所であり続けるために。

減っていくシロチドリに涙を流す日々を脱するべく立ち上がったのだ！！！



シロチドリを



ふたたび



千の鳥に

え、具体的に何した の？

新潟県網代浜海岸でチドリ類保護柵まもる君の設置や、
新潟県のシロチドリ繁殖個体数を知るべく新潟県の海岸練り歩き調査をしたぞ！！

チドリ類保護柵まもる君とは？

今回使用した保護柵はバードリサーチの守屋氏からいただいたマニュアルを元に設置した。

60cm×60cm×45cm の箱状5cm×5cmの格子でできている。巣に被せることで、格子からシロチドリは自由に出入りすることができるが、カラスや4つ足動物は手やすくしばしが巣まで届かず、卵を守ることができる。



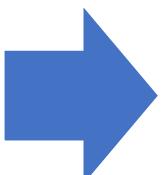
なんで網代浜海岸でチドリ類保護柵？

網代浜海岸にはシロチドリが年中生息している。今まで幼鳥の姿を見ることがなかった。
2025年4月から繁殖状況を観察することにした。しかし巣はせっかくシロチドリが作っても1週間もしないうちになくなるを繰り返していた...

原因を知るべく周りを見渡すと…

- ◆ 網代浜海岸は釣り人やサーファー、浜への侵入が多く、レジャー人口が多い
- ◆ キャンプやバーベキュー、水上バイク等による車の侵入も多い
- ◆ ロードバイク、ノーリードで散歩するワンちゃんも…

→人為的搅乱が多いことに気がついた。



まず人に踏まれないように
しよう！！

色々あって…

なんとか網代浜海岸で5巣に設置！！

マニュアルから以下のルールのもと設置を実行しました！！

設置に伴ってのマニュアル

- 抱卵を放棄する場合があるため、卵がすべて産みそろい、抱卵を開始してから設置（シロチドリは3個）。
- 晴天、または曇天の日で、卵が冷えたり熱くなったりしない気象条件下や時間帯で実施。
- 下見の際に、カラスに注意する。

設置時のマニュアル

- すみやかに巣に近づき、卵が中心になるように保護柵を置き、杭で固定する。
- 保護柵を設置したらすぐに離れる。
- 親鳥が抱卵に戻るのを確認する。
※30分以内に抱卵に戻らない場合は保護柵を撤去する（気温が非常に高い場合や低い場合は、より早い段階で撤去の判断を行う）。

巣	設置から戻るまでにかかった時間	工夫点
①	○13分	1回目で成功。
②	×30分 ○9分	2回目トライで成功。1回目は雌雄交代のタイミングにより失敗と考える。
③	×30分 ×30分 ○5分	警戒心が強く、2回途中撤収。2回目トライ後に保護柵に慣れてもらうために1mほど離した状態で設置し、半日後に3回目トライした。
④	○10分	1回目で成功。
⑤	○10分	はじめに保護柵設置にかかる時間を減らすためにシロチドリが抱卵に入ったあとペグを15分後に取り付けた。

設置結果

巣立ち直後に捕食された可能性が高い。保護柵の周りにカラスの足跡見られた。

対策

トレイルカメラ設置で原因究明

3羽が巣立ち、2羽が2週間以内に消失。1羽が飛翔できるサイズまで成長した。

対策

孵化後、巣立ち雛の隠れるところや日陰の補填。

3羽が巣立ち、2週間以内に3羽とも消失。外敵に捕食された可能性が高い。

予想

コアジサシ営巣による外敵撃退の影響が大きいと予想。

3羽が巣立ち、全てが飛翔できるサイズまで成長した。同時期にコアジサシが繁殖を始めた。

対策

シロチドリの普及啓発。

スムーズに抱卵に入った。設置から18日後営巣放棄確認。人の出入りが激しい場所。大型重機が保護柵から30cmほどの距離で停止跡あり。5m以内に一般車両乗り上げ多数。

→ 4巣から12羽巣立ち、4羽が飛翔できるサイズまで成長した。

来年以降の改善点

今回の工夫を踏まえ、来年からは以下の項目をマニュアルに加えて設置を行う。

- 保護柵設置にかかる時間を減らすためにペグをシロチドリが抱卵に入ったあと15分後に取り付ける。
- 1回目のトライで失敗した場合、保護柵に慣れてもらうために1mほど離した状態で設置し巣に戻るのを確認する。そして半日後に再度トライする。

第一回 新潟県シロチドリ繁殖個体数調査



新潟県内のシロチドリは減少傾向(新潟県鳥類目録より)

→しかしこれまで県内のシロチドリの生息数を調査した例はない。

どのくらいの数のシロチドリが県内で繁殖しているのかを把握する必要がある。

調査方法

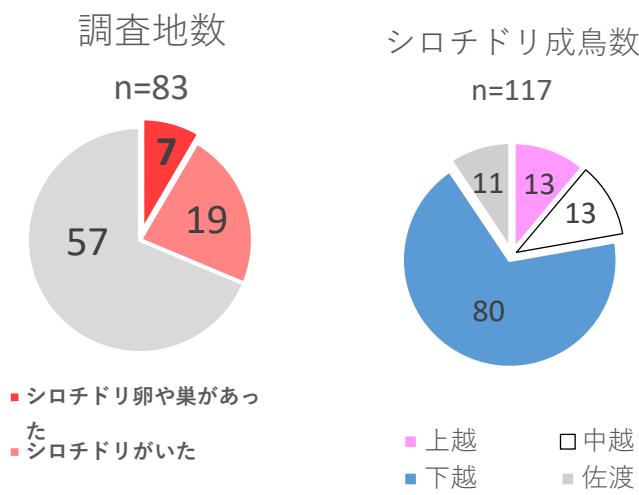
新潟県で野鳥観察を行っている有志を募り、7月1日～30日の間にラインセンサス法を用いてシロチドリの数をカウントした。

調査地の選定

各地の調査協力者と相談し設定。

- ・過去にシロチドリを見た場所。
- ・まとまった広い砂浜や河川の河口部などを中心に選定

結果



- ・調査地:83箇所
- ・シロチドリ未確認:57箇所
- ・調査距離合計:約94km
- ・**成鳥数:117羽**
- ・**今年生まれの幼鳥数:24羽**
(うち飛翔能力のある幼鳥9羽)

調査協力者(順不同敬称略)

櫻井俊司	渡邊周子	清稜太
鳥居憲親	渡邊大輔	佐藤悠子
田中秀明	鹿間裕行	近藤真生
丸山晴一	難波歩	
森亮太	久野太熙	
布川耕市	原田英祐	

- ・個体数は広い砂浜海岸の多い下越地域に集中。
- ・調査期間はシロチドリの繁殖後期にあたる7月に行われたが幼鳥数は少なく、見つかる雛もほとんどが巣立ち直後～1週間程度であった。
- ・経年での調査の継続と県内に生息する個体群の繁殖成績の把握、繁殖失敗要因の究明が急務

今年の活動を踏まえて…

シロチドリ保護柵取り付け対象海岸の増加
引き続き保護柵取り付け経過観察・経過記録
活動の宣伝の継続

◎ シロチドリの魅力発信 (HP,SNS等)



謝辞 (敬称略)

保護柵設置に多くの助言をいただきました！

NPO法人バードリサーチ 守屋年史
長岡市立科学博物館 動物研究室 鳥居憲親

保護柵設置に当たって許可申請へのご協力をいただきました！

日本野鳥の会新潟県
新潟県野鳥愛護会

興味を持っていただきありがとうございます！

来年もますますシロチドリを、浜辺の自然を盛り上げていけるよう活動していきます！！

よかったら遊びに来てください♪



やってます♪

@chidorin1012

連絡先

chidorinzu@gmail.com